

五一九

受信〇二一三四

譯了〇四三〇

電〇九七九六

人事

親展

人事局

總無線艦所用共通符號

機密第一九一九三一番電

發 南東方面艦隊參謀長

瀬屑(ス)三〇(五月二十日大艇便ニテ歸還豫定アト吉田(ク)S四七

一ヲ兼第八海軍病院長ニ補職發令方取計ヲ得度。

(東通註、本電誤字極メテ多シ)

通一〇八六七 呂二?ケ十一(一七六三〇K)八通

海軍

親作戰緊急

五二〇

受信一〇九二六九

譯了二一一六

電自〇〇九八七九六

作概〇

海軍總隊

第一、三、五各航空艦隊各戸
六航軍派遣海軍通信隊

大本營海軍部 東通・沖繩方面特根
佐領戸・陸軍

一九一二三四二

機密第一九二三四二番電

G B 電令作第四五號

宛 六航軍

通報 八飛行師團 五航軍 航空總軍 三二軍 一〇方面軍參謀次長

一 T F B 五 F G B 竝ニ六 F A ハ左ニ依リ 沖繩周邊敵艦船總攻撃ヲ實

通一〇〇四三二一〇〇五〇 協作 B C G F P

1661

施スベシ

ニ本作戦ヲ菊水第七號作戰ト呼稱シ期日ヲX日(二十三日)決定シ

三、作戰要領

(イ) TF BハX!一日日没後ヨリ終夜ニ亘リ夜間雷撃隊ヲ以テ主トシテ沖繩南部並ニ慶良間方面敵艦船ヲ、夜間爆撃隊ヲ以テ伊江島飛行場攻撃

(ロ) 六FAハ義號部隊ヲ以テX!一日夜半沖繩北中飛行場ヲ急襲ス

(ハ) TF B夜戦隊及六FA重爆隊ハ前諸號ノ攻撃ニ協力ス

(ニ) X日早朝六FA戦闘機隊全力及TF B戦闘機隊ノ大部ヲ以テ南西諸島並ニ沖繩島附近ヲ制空シ其ノ間兩軍航空兵力ノ大部ヲ以テ沖繩島周邊敵艦船攻撃開始

(ホ) 右作戰ニ於テ沖繩ノ制空概成セル場合ハ兩軍練習機特攻ヲモ注入戦果ヲ擴大ス

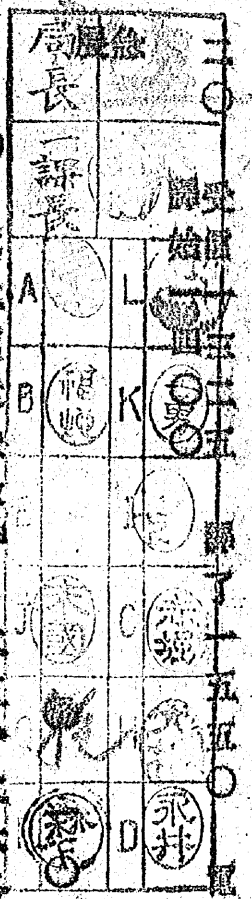
(ト) TF Bハ本作戦間好機敵機動部隊ヲ撃滅

五FA及六FAノ作戰ニ策應機宜總攻撃ヲ決行ス

第十部隊

416

五



電〇九九四五

官房・令副
人事・軍務

第二南遣艦隊F・二五、二六各根F

東京通信隊

機密第二〇一〇二番電

通報 大海參一部長 人事局長

一、第二六特別根據地隊ハ同隊司令官「アンボン」移動ノ時機ヲ以テ第

二九警備隊ニ改編二五根ニ編入セシメ右改編ニ伴ヒ一ノ瀬ハ九七

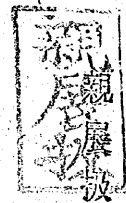
一、第二五根據地隊司令官ニ轉補セシメラル豫定

二、二五司令官ハ連ニ一ノ瀬司令官「アンボン」ニ進出セシメ同

官「アンボン」ニ進出セバ岡田(二六一)ヲ「スラバヤ」方面ニ進

通一一一五〇 呂一日ヲ十八(一七五九〇K)十通海軍

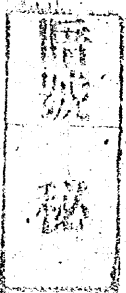
五二五 受信 〇〇八二〇五 譯了 〇九三〇 電一 一一三二 人事・政一



次次

長官

在スイス武官（ベルン）



機密第一〇三番電 二〇一〇〇〇

着信者 次長 次官

通報 人事局長 在典武官

伊太利ヨリ獨逸ニ避難シドレスデン近郊ニ集結シ居リタル邦人一同（海軍囑託井上タダシ及同家族ヲ含ム）ノ消息ニ關シ瑞西政府ヲ通シ左ノ通知アリタリ

目下米軍ニ收容セラレババリヤ方面ニアリ一同元氣ナリ。

通一二五〇七 茂 D

418

通一二六七一七八

呂一B(10000)父通

海

軍(一)

九〇三空父島派遣隊准士官以上ノミ總員引揚ニ就テハ左ヲ考慮ノ

香電關聯

九〇三空機密第一八一二四〇番電及父島通信隊機密第〇三一三四二

通級 人事局長 司令官 局長 大海參一部長 橫須賀人事部長 九〇三

宛 父島機密隊司令官 橫須賀參謀長

機密第二〇一二二番電 總分ノ二三三

東 通・大津 通

五二〇 受領一六五〇八

丁一八〇五

電自一〇〇三三二

人

第十課

419

要アリ

(イ) 累次ノ引揚ニ由ル隊員ノ動員ヲベカラザルモノアルトコロ今又

准士官以上ノ退場ノコトトナラバ隊員ハ假令該隊員ノコトナ
ルモ該隊員ノ中心ヲ失ヒ早急ニ精兵化スルコトハ困難ニシテ警備
力ニ障礙ヲ生ズル惧レアリ

(ロ) 從來存置シタル大所轄ノ下士官兵ノミ引受ケ之ガ指揮統率ニ任ズ
ベキ有力ナル幹部要員ノ配員ナキ當隊現狀ニ於テ士氣ノ昂揚維持
全般ノ取締ハ固ヨリ基地施設各種兵器物件ノ保管ニモ遺漏支障ヲ
生ズルコトアルハ蓋シ已ムヲ得ザルベシ

ニ准士官以上總員引揚ノ場合左ヲ承知ノ上ニテ實施相成度

(イ) 基地各種施設ハ成行ニ任セ放置スルノ已ムナキ場合アルベシ

(ロ) 海軍兵力ヲ以テスル水上基地附近ノ防衛ハ斷念シ下士官兵ハ適宜
當隊各隊ノ擔任區域間増加兵力タラシムルコトアルベシ

軍需品

- (一) 定置的ノ兵器需品等ノ保管ハ萬全ヲ期シ選シ
- 其左ノ職員實現ヲ切望ス
- (イ) 海軍兵學校又ハ選修學先出身少佐又ハ古參大尉一名
- (ロ) 陸戰班豫備士官又ハ砲術關係特准中隊長一名小隊長長級九名
- (ハ) 軍醫科及主計科士官ハ現配員通
- (ニ) 右ノ外航空關係基地要務處理ノ爲整備出身特准一名殘留セシメラ
- レ度。

五三二
緊急
電報

受信一三五二
開始一四四五

即了二五三〇

電一〇三六

制人◎

東通・大漢通・父通

機密第二一〇八四一番電

發 機密參謀長

宛 軍務局長 大海參一郎長 人事局長 九〇三空ト 父根ト

九〇三空機密第一八一二四〇番電及父局特機機密第二〇一二二二番

電開聯

贈送ノ關係上五月上旬歸郷者ヲ以テ一應終了トシ轉勤發令アリ度特
技ノ關係上准士官以上ニテ交代ヲ要スル者アラバ次回贈送便アル時

通一一六四五 呂一八ヲ十八(日)横須賀

海(1) 軍

更ニ轉勤發令アリ度殘留者名簿ハ寺田大佐ガ丸〇三空本殿ニ持參シ
アルニ付至急人事局及橫須賀人事部宛送付ヲ得度。

親王
展

請就軍機

五二

受領一四五二

譯了一五三〇

電一〇三六

補人◎

東通・大津通・父通

機密第二一〇八四一番電

發 樹銀參謀長

宛 軍務局長 大海參一郎長 人事局長 九〇三空P 父根P

九〇三空機密第一八一二四〇番電及父島特機機密第二〇一二二二番

電開聯

檢送ノ關係上五月上旬歸還者ヲ以テ一應終了トシ轉勤機令アリ度特
技ノ關係上准士官以上ニテ交代ヲ要スル者アラバ次同檢送便アル時

通一一六四五 局一四十八(日) 横須賀

海(4) 軍

第十部

更ニ轉勤被令アリ度殘留者名簿ハ寺田大佐ガ九〇三型本線ニ持参シ
アルハ付至急人事局及横須賀人事部宛送付ヲ得度。

第十條

五二一

受信一七五二二

譯了一九〇〇 電一〇五八九 人

事

● 總無線艦所用共通符號

● 人事局

● 第一護衛艦隊口・佐鎮

機密第二一一五一九番電

發 第二十二海防隊司令

大東海防艦艦長 内崎(ヨコ三四〇)ニ對スル當隊ノ期待絶大ナルモ
ノアリ然ルニ宿痼ノ爲當分勤務不能轉勤必須ナリ現〇S F司令長官モ
長年其ノ風格ニ密着シタリ本職ノ期待何人ヨリモ大ナリ人格
充分後任任命竝ニ本人ノ轉方面ニ轉用方特ニ取計ハレ度
(東通註 本電誤字極メテ多シ)

通一一七〇三 天二ヨケ一八(五二〇〇KC) 佐通

海

軍

五二一

受信二〇九一〇一九

譯了二二〇七

電一〇〇五五八八七

航一人
本令事

親展

人事局

海軍總隊

機密第二一一五三五番電 二分ノ二

發 南東方面艦隊參謀長

今月明期中挺身輸送ノ歸途瀨西車醫少尉高橋八下參謀陸軍大佐二ノ

外特ニ指令ナケレバ左ノ搭乘員ヲ歸還ヒシム

操縱員戰闘機下士官一 水偵少尉一下士官八 偵察員飛行兵曹長一

下士官五

尚航空兵力現狀左ノ通

2002

通二七七四
一七八一

呂二日ケ十一 (二七六三〇KG) 八通

左頭・公日(海軍)

搭乘員 准士官以上 (下士官兵) 操縱員

戰術機員(五) 艦攻 一(一) 水偵八(一二) 偵察及電信

員一一名(四九) 計二〇(六七)

保有 (實動) 機數

零戰三(〇) 九七式艦攻一(一) 零式水偵一(一) 艦上機

何レ被爆破損ノ爲修理中。

(東通註 誤字多キ爲遲延)

緊急
要聞

五二二 受信一三三〇五 譯了一四〇八 電一〇七六七 人事

● 第一一〇方面艦隊

● 人事局

機密第二二一〇五五番電

左記異動發令方取計ヲ得度

山口(三二四一)第一〇二工作部員原田(四七四六)足柄分隊長

坂梨(六一五四)第一南遣艦隊司令部附

通一二〇九六 仁口(一七五九〇)十通 海軍

415

製作
親
廣

五

受信一四三五

譯了一五二〇 電一〇七八七

航本・參本〇

暗號

發 G B 參謀長

通電先 六航軍 八 P D 三二軍 第一〇方面軍 沖根 (三二軍)

菊水七號作戰ニ於ケル T P B 作戰要領ハ T P B 信電令作第五八其
ノ一其ノ二ノ通ニ付貴隊航空兵力ハ右ニ策應主トシテ渾總南東方海
面竝ニ應良國海域ノ敵艦ヲ攻撃ノコトニ取計ハレ度。

(東京通電 本電問合セノ爲遲延)

利一二一〇九 協作 (B) (G P D)

第一、航空艦隊
東通。第三、五各航空艦隊各戸

二二一 一一五五

476

親展
秘

五二二

受信 〇〇八〇〇〇

了 〇九二五 電 一一三一

特政
一人

次官・次長

在瑞西武官 ()

第一〇五番電 二二一一二〇〇

通報者 人事局長 瑞典大使館附武官

パードガスタインニ在ル小島武官一行ノ消息ニ關シ十八日瑞西外交
官ヲ通シ左ノ通知アリタリ

一、五月十五日現在海軍關係員小島少將豊田大佐中山中佐川北技少佐
奥津書記熊切特別書記及獨人運轉手一名

ニ近ク何レカニ轉地セシノラルベキモ目下ノ處一同健康ニシテ食糧
住居等良好ナリ尙同地ニハ大使館軍武官等計約一三〇名アリテ何

通一二五〇六 茂D

海軍 (一)